

## 第3期中期目標期間における教育研究評価の見直しの視点

---

### 評価方法の高度化

- 客観的データの更なる活用や学系(分野)ごとの標準化等

### 評価の効率化

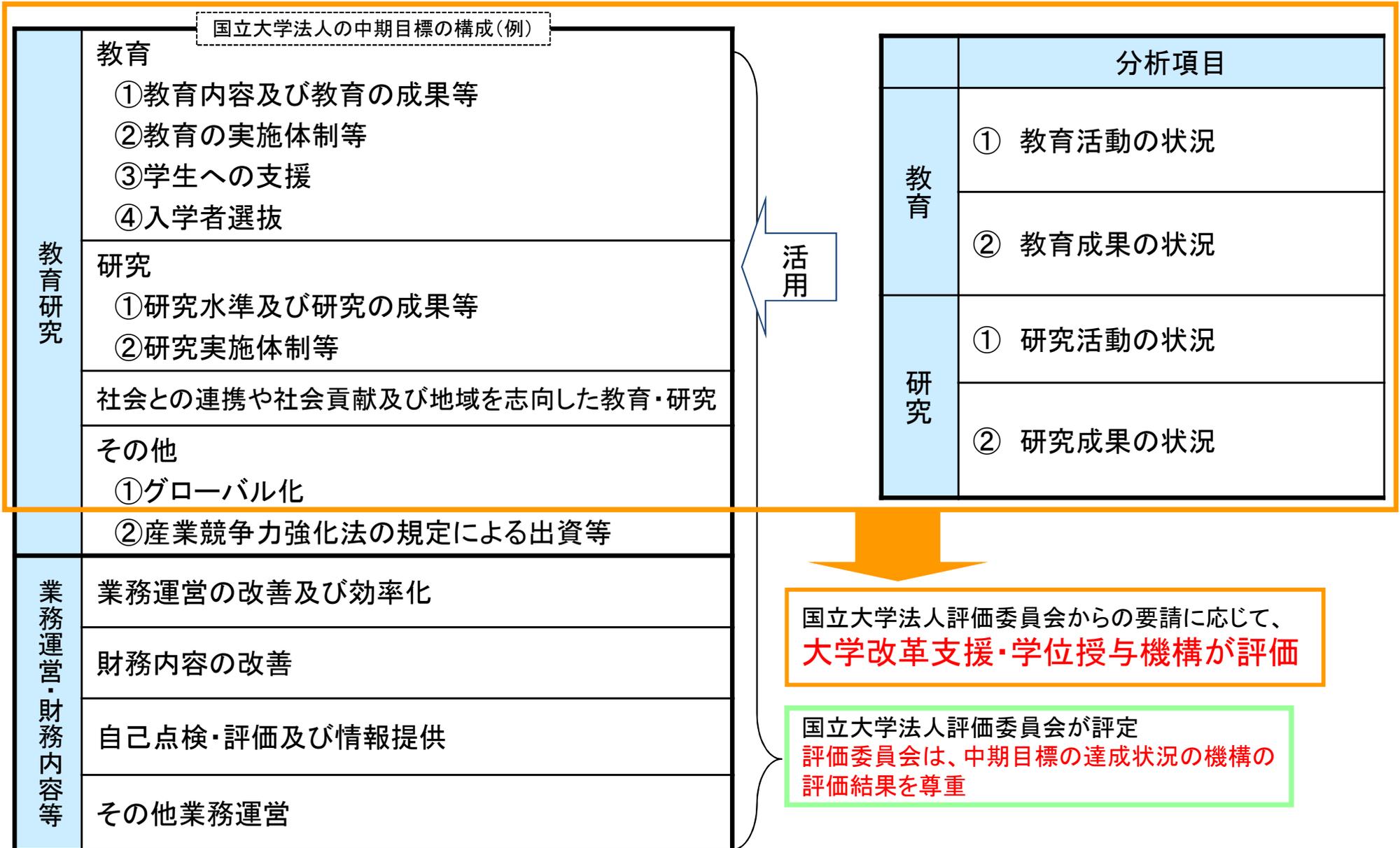
- 4年目終了時評価の導入に伴う法人の作業負担の軽減



# 第3期中期目標期間評価のスキーム(案)

## 中期目標の達成状況に関する評価

## 学部・研究科等の現況分析





# 学部・研究科等の現況分析の評価方法(案)

- 国立大学法人等から提出された学部・研究科等の現況調査表に基づき判定
- 評価に際しては、教育研究活動に関する各種データを活用
- 記載項目を設定することにより、現況調査表の記載内容について一定の標準化を図る
- 水準の判定の中で質の向上の状況も含めて評価
- 「学部・研究科等の目的に照らして、取組や活動、成果の状況がどの程度の水準にあるか」  
という視点により評価

## 〈第3期 学部・研究科等の現況分析 段階判定イメージ〉

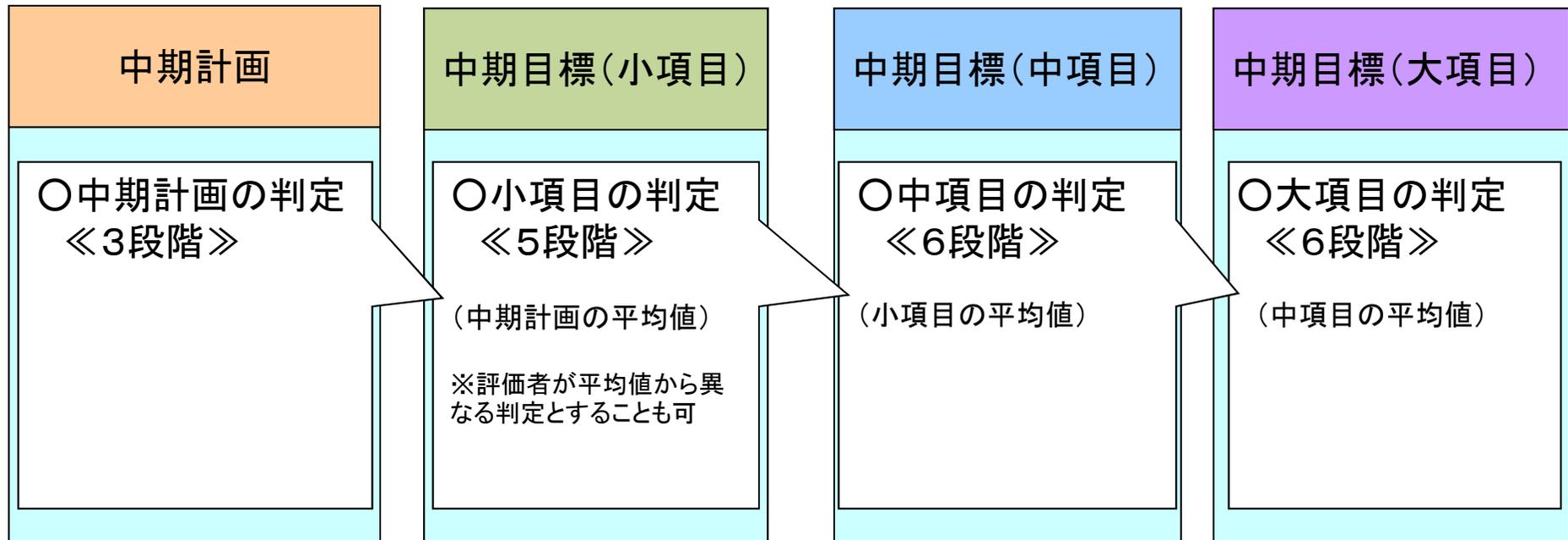
	分析項目	水準の判定
教育	① 教育活動の状況	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">分析項目ごとに4段階で判定</div>
	② 教育成果の状況	
研究	① 研究活動の状況	<div style="background-color: #ffffcc; padding: 10px;"> <p><b>視点</b></p> <p>・各学部・研究科等の目的に照らして、取組や活動、 成果の状況がどの程度の水準にあるか</p> <div style="border: 1px dashed orange; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     第2期中期目標期間終了時点と評価時点の水準を勘案し、 質の向上の状況も含めて水準を判断                 </div> </div>
	② 研究成果の状況	



# 達成状況評価の評価方法(案)

- 国立大学法人等から提出された達成状況報告書に基づき判定
- 評価に際しては、学部・研究科等の現況分析結果を活用
- 「戦略性が高く意欲的な目標・計画」については、プロセスや内容等を考慮し評価
- 国立大学法人等が特に重視している中期目標・中期計画がある場合には、それを踏まえて評価
- 国立大学法人等ごとの具体的な中期目標が設定されている小項目による評価をより重視した仕組みとするなど、中期計画、中期目標の各項目の段階判定数を変更

## 〈第3期 中期目標の達成状況評価 段階判定イメージ〉

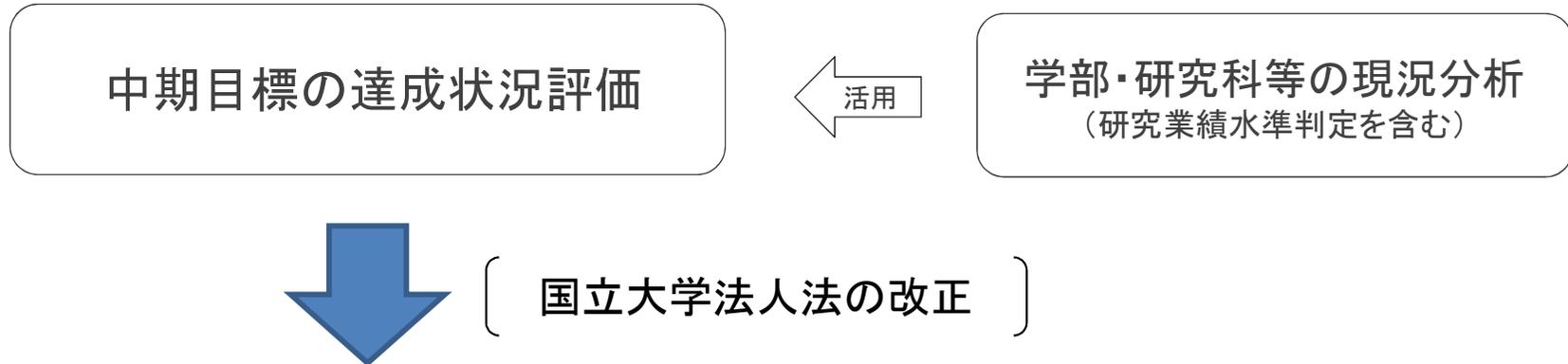


順次判定を積み上げて評価

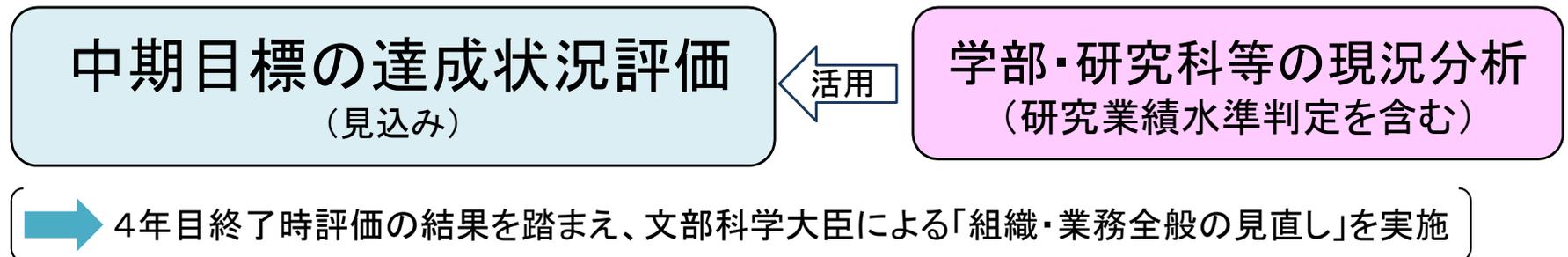


# 教育研究評価の実施内容(案)

## 第2期 <中期目標期間終了時(2016年度実施)>



## 第3期 <4年目終了時(2020年度実施)>



## <中期目標期間終了時(2022年度実施)>

